

肢体不自由児・者の美術展 書道部門

小山内さん(青森一高養)最高賞

日本肢体不自由児協会などが主催する本年度の「肢体不自由児・者の美術展」デジタル写真展」の書道部門で、青森第一高等養護学校の小山内龍弥さん(3年)の作品が最高賞に当たる「特賞」に選ばれた。小山内さんは28日、県庁を訪れ、風張知子県教育長に喜びを報告した。

(工藤慎子)



風張教育長(手前左)に受賞の喜びを語る小山内さん(右端) 28日、県庁

同展は書、絵画、コンピュータアート、デジタル写真の4部門からなり、書の部には153点の応募があった。4部門合わせて計30点が特賞に選ばれ、昨年12月3日に東京で表彰式が行われた。

小山内さんの作品は「新」。新しい自分に挑戦するーとの思いを一字に込めた。約70センチ四方の正方形の紙に、2本の筆を使って通常より太い線で書いた力強い作品だ。小山内さんは同校入学後に書道を始め、1年生から3年連続で同展に出品し、今回初めて入賞を果たした。



小山内さんの作品「新」(青森第一高等養護学校提供)

この画像は当該ページに限って
東奥日報社が利用を許諾したものです。